

第1号議案

令和元年度事業報告

令和元年度の請負などの受注件数は2,324件と前年比72件減少し、契約金額も1億1,910万9千円で前年比2,104万2千円の減となりました。

内訳は、公共の契約金額が2,661万1千円（前年比：465万9千円の減）、民間事業所の契約金額が6,898万4千円（前年比：1,623万2千円の減）一般家庭の契約金額が2,351万4千円（前年比：15万1千円の減）です。

県シルバー人材センター連合会小千谷市事務所が実施する派遣事業については、受注件数が7件増加し、契約金額は4,416万4千円で前年比1,205万6千円の増となりました。

会員数については年度末で389人であり、前年比5人の減となりました。内訳は、入会者が39人、退会者が44人です。

入会理由の主なものは、男性が生きがい社会参加、健康維持・増進、時間的余裕の順に多く、女性が生きがい社会参加、経済的理由、時間的余裕の順となっています。

退会理由の主なものは、男性が病気（本人）、加齢、就職の順に多く、女性は就職、加齢の順となっています。

会員の平均年齢は全体が72.6歳で在り、男性は72.6歳（前年度72.4歳）、女性は72.5歳（前年度71.8歳）で高くなってきています。

また、会員の就業率（年度内就業者数÷年度末会員数）は、受注件数減少や請負事業などが派遣事業へ移行した影響により前年度の97.5%に対し96.1%と減少しています。

受託業務について

令和元年度の事業運営は、受注件数、契約金額ともに前年度を下回りました。

減少した原因として令和元年度については、事業所の減少に伴う管理・清掃受注の減少、過去に例のないほどの小雪による除雪・冬囲い等作業の減少、そして年度末にきてからの、新型コロナウイルス感染防止のための事業閉鎖に伴う管理の減少によるものがあげられます。

仕事の区分では、運搬、軽作業（清掃・除草など）、生産工程の作業（障子襖はり・金属加工など）、サービスの作業（家庭生活支援・管理など）、農林漁業の作業（剪定・冬囲いなど）の受注が多く、これらで全体の97%を占めていますが、これらの継続的な契約においても仕事量が減少する傾向が見られました。

シルバー事業は景気の動向や自然条件などに影響されやすく、年度ごとに増減はありますが市内の企業や一般家庭の皆様、公共機関等から高齢者の就業にご理解をいただき、比較的安定した発注をいただいておりますが、今後しばらくは新型コロナウイルスの影響は尾を引くものと思われまます。

会員の拡大について

令和元年度は、退会者数が入会者数を上回りました。全国及び新潟県において減少が続く中、当センターも減少しています。会員の拡大に努めるとともに、職種により経験や技能を持つ会員が少なくなっていることを踏まえて、技能者の養成などに取組む必要があります。

安全就業について

令和元年度は、傷害事故3件、賠償事故4件の計7件で、昨年と比較すると傷害事故は2件増、賠償事故は1件減となっています。

傷害事故の状況は除草作業中や冬囲い作業中の受傷、賠償事故は機械除草作業中の石の飛散による車両破損となっています。

事故防止策として、会員へ注意の呼びかけや仕事前の安全確認の励行などを行っていますが、何気ない作業の中にも事故が潜んでいますので、安全就業について意識をより向上させることが大切です。

シルバー派遣事業について

当センターは、県連合小千谷市事務所として平成22年度から派遣事業に取り組んでいます。国は適正就労を進めており、特に請負・委任契約と派遣契約を適正に行うよう指導を強めています。

また、不足する我が国の労働力を補うため高齢者に着目し、シルバー人材センターに派遣事業の拡大を促しています。

派遣事業の前年度比較

項目	令和元年度	平成30年度	増減
登録会員数	143人	123人	20人
受注件数	107件	100件	7件
就業延人員	9,010人	6,346人	2,664人
契約金額	44,164千円	32,108千円	12,056千円

会員の状況、事業実績、会議行事の開催等について

(別添のとおり)